

学校だより
臨時号

桜の宮 No. 1

平成28年3月4日
神戸市立桜の宮小学校
〒651-1143
神戸市北区若葉台 1-3-15
TEL: 078-591-1009
<http://www.kobe-c.ed.jp/skm>

教育活動等に関するアンケート集計結果

教育活動等に関するアンケートにお答えいただきありがとうございました。
154の提出(提出率78%)をいただきました。ご報告させていただきます。

☆学校について

◎数値評価(4段階評価)

()は昨年度

1	保護者であるあなたは、桜の宮小学校が好きで誇らしく感じている。	3.1 (3.0)
2	先生たちは、子どもたちが充実した学校生活を送るために協力して取り組んでいる。	3.4 (3.2)
3	先生たちは、子どもの関心や意欲が高まるように授業を工夫している。	3.4 (3.2)
4	先生たちは、授業や宿題などを通して、計算や漢字などの基礎学力が定着するように努力し、ある一定の成果をあげている。	3.3 (3.1)
5	先生たちは、家庭訪問や懇談、連絡帳、電話連絡などを通して家庭と連携し、子どものことで連絡や相談したことについて、きちんと対応している。	3.6 (3.3)
6	学校は、学校行事や学年行事、さくらっこタイムなどが、子どもの成長にとって有意義なものになるように、工夫や努力を重ねている。	3.3 (3.2)
7	学校は、子ども同士の望ましい関係づくりのためにさまざまな努力をしている。(仲間づくりが進む授業や行事・友だち関係の悩みに対する助言・問題ある言動に対する指導など)	3.2 (3.1)
8	学校は、子どもたちが学習しやすいように、安全で快適な環境づくりを進めている。	3.3 (3.1)
9	学校は、必要な情報を発信し、「開かれた学校づくり」を目指す取組を行っている。(授業参観やオープンスクールの実施、各種通信やホームページなど)	3.4 (3.3)

◎自由記述

教育活動に対する提案

- 単学級で人間関係など不安な点もある。児童数が少ないからこそその取組はできないだろうか。すでにしてくださっているのですが、人間性・学力ともに学校全体で向上できたらいいと思う。
- 英語を取り入れてほしい。

1～6年生までの縦割り班による活動(桜っこタイム等)、遊びや学びを通じた兄弟学年や隣接学年の交流などにより、学年・学級を超えた小規模校だからできる取組を行っております。また、学習によっては、児童の興味関心に応じた課題別の小グループを編成して活動を行っています。外国語活動については、ALT(外国人英語指導助手)やイングリッシュサポーターを活用して、5・6年だけでなく、3・4年でも総合的な学習の中で国際理解として取り組んでいます。今後、教科化へ進む外国語(英語)活動についての研修を進め、本校の特性を生かしたよりよい活動に取り組んでいきたいと考えています。

指導・憂慮

- 担任の先生は本当に丁寧に子供たちを見てくださっています。毎日、保護者向けにプリントを配布してくださり、本当にありがたいです。
- 先生は子供の様子をしっかり見ていただいていると感じます。
- 子供たちは学校・先生が大好きようです。
- いろいろな子供・親がいるので、先生方も大変だと思いますが、子供たちが楽しく学校で過ごせてい

ることに感謝しています。

- 勉強も大切ですが、学校に通う楽しさが一番だと考えています。子供は毎日楽しく通っていて本当にありがたいです。これからもどうぞよろしくお願いいたします。
- 桜小は人数が少なく、先生方はよく見てくれていて、安心して学校へ行かせています。
- 少人数な上に先生方がしっかりされているので、毎日子供たちも親も安心して過ごせる学校でとてもありがたいです。
- 体とともに心が成長し始め、高学年は本当に難しい時期だと感じています。今年の担任の先生の行動力と熱心さ、最後までやり遂げる姿勢、こんな先生が増えるといいなと思います。
- 担任に恵まれ高学年では勉強以外でも大きく成長させていただきとてもありがたいです。少人数なので先生方も子供たちもほぼ全員の名前も顔もわかっているようで、これもありがたいです。6年間毎日楽しく安全に生活させていただいて感謝の気持ちでいっぱいです。
- 先生方は色々な角度から子供たちをよく見てくれていると思います。プチ思春期の子供たちにも色々なタイプがあり、指導する先生方は本当にエネルギーの要ることだと思います。そんな教職という仕事を選んだ先生方には、感謝と尊敬しかありません。本当にありがとうございました。
- 色々な子供・親がいるので、先生も大変だと思いますが、子供たちとしっかり向かい合っていると感じます。
- 授業を始める前の挨拶、授業中の私語雑談、ノートをとらないで下ばかり向いている…基本的なことなのに、学年が上がるにつれてできていないのが現状なので残念です。親や子供たちへの配慮もあると思いますが、もう少し子供に対して厳しく注意・指導してもいいのではと感じている保護者も多いのではないかと思います。
- 問題児を排除するのではなく、共存する方向で交わらなければ子供の社会性は育たないと思います。そこで子供たちで解決策を考える方向でもっていけばいいのです。すべてが先生の責任ではないです。
- 成長していく過程で学校は大部分を占めていると思います。先生や友達からの影響はとても大きいです。親だけでは考えることのできないことを親も一緒に学んでいけたらと思います。先生方には感謝しています。
- 少ない児童数を生かして、学年を超えた交わりが多くあり、色々な年齢の友達と関わることができてよいと思います。
- 全体的に子供の数は少ないのですが、クラスによっては人数が多い。学習面ですべての子供に一定の力を付けようとする先生方はとても大変だなと思う。競争意識がなくなり学力面で他校と差がでやすいと周囲から聞くこともあるが、子供の数が少ないことでの良さもたくさんあると思う。引き続き子どもが安心して楽しく過ごせるようにご指導よろしくお願いいたします。
- 1クラスしかない学年がほとんどなので、人数が多い学年は個人個人に応じた学習指導ができているか疑問に思うこともある。厳しく指導してくださる先生はありがたいです。何度でもやり直しをさせてもらいたい。できていないことをそのままにするのはやめていただきたい。
- テストの採点ミスをなくしてほしい。間違っているのに正解になっていることが何度もあった。厳しく細かく見てほしい。
- 登下校で高学年が横に何列にもなって並んで歩いている。前から来る人の迷惑になっていることに気づいているのに道を譲らない場面を多々見えています。学校はその都度、ルールやマナーをしっかり教えてほしい。

学力・生徒指導等について指導が行き届いていると評価いただきましたことは、うれしいことです。家庭との連携を深め、子供に寄り添いつつ、子供の成長を目指して、よりよい指導を模索してまいります。一方で、個に応じた指導ができているのか、丁寧な指導ができているのかとの不安を感じるとの意見もいただきました。今後、職員の研修を充実させ、子供一人一人を見とり、学力を伸ばしていけるように努力してまいります。

施設

- 空き教室があるのに、学童は学校から離れたところにあります。学校の課題ではないかもしれませんが、他の市町村では、学校内に児童館があるのが通常なので、神戸市も検討してほしい。桜の宮児童館は保育所の上にあるので、全く運動ができません。
- 下駄箱があると、子供たちの足にとってや、衛生上良いのと思います。

神戸市の多くの学校は上履きを使用していません。本校もそれに倣っています。土足の一番の長所は、教室の出入りに手間・時間がかからないことです。下駄箱で混み合うことはありません。本校のように、1時間ごとに休み時間があり、運動場に遊びに行く児童が多いなら、なおさらです。ただご指摘のように、土やほこりが教室に上がってくることも事実です。足ふきマットを利用したり、掃除を丁寧に行ったりして衛生的な環境をつくるように努めてまいります。

クラス編成

- 副担任のような形で関わってくださる先生の方が大きいです。ゆったり優しく包んでくれるような感じで、子供たちにとっては安心できる存在です。
- 1クラスの人数が多いので先生一人では大変ではないかなと毎年感じています。クラスを分けるか先生2人で授業をする等していただけると学習に取り組む力が伸びると思います。

教職員の定数は、法律で定められており、学校裁量で教職員を増やすことはできません。スクールサポーターや教育委員会の事業を利用してボランティアを確保し、指導補助を行っています。「人は人によって人になる」という神戸市の教育理念のもと、できる限り人員の配置に努めてまいります。

情報発信

- ホームページがよく更新されていて、学校の様子がわかりやすく助かっています。
- 保護者の方から色々と良いことも悪いことも聞こえてくるのですが、できれば学校からの報告がほしいと思う。子供から聞くことが多く、本当のことがわかりにくいです。

手軽にアクセスできるツールとしてインターネットがあります。本校では日々の学校での活動が見えるようにとホームページのアップに努めています。まだまだ十分ではありませんが評価いただきありがとうございます。家庭との連携は、本校が最も大切にしているところです。担任からの電話連絡・家庭訪問を基軸に連携を強めたいと考えております。気になる点がございましたら、保護者からも担任に何なりとお問い合わせください。

学校だより
臨時号

桜の宮 No. 2

平成28年3月4日
神戸市立桜の宮小学校
〒651-1143
神戸市北区若葉台 1-3-15
TEL: 078-591-1009
<http://www.kobe-c.ed.jp/skm/>

☆ご家庭・お子さんについて

() は昨年度

◎数値評価(4段階評価)

1	子どもは、睡眠不足にならないように、また、登校に支障がないような時間帯で寝起きしている。	3.2(3.2)
2	子どもは、家族や近所の方にも「おはようございます」「ありがとうございます」「すみませんでした」などの基本的なあいさつが進んでできる。	3.1(3.1)
3	子どもは、好き嫌いをせず、朝食・夕食をしっかりと食べている。	3.2(3.2)
4	子どもは、毎日、宿題や家庭学習に、ある一定の時間取り組んでいる。	3.3(3.2)
5	子どもの連絡帳や学校からの手紙、学習ノートなどには目を通すようにしている。	3.2(3.3)
6	子どもの放課後のくらしを把握している。(どこで、だれと、何をしているか)	3.6(3.6)
7	子どもが学習や友達関係で、悩んだり困ったりしたときには、話をしっかりと聞いている。また、必要であればアドバイスするようにしている。	3.5(3.4)
8	子どもと次のようなことを話し合い、正しい使い方を教えたり、家庭での約束を決めたりしている。(例：帰宅時刻・おこづかい・テレビ・ゲーム・携帯電話・メールなど)	3.5(3.5)
9	子どもと楽しく会話している。(学校の話、一緒に見たテレビ番組や近所の話、出かけた先での話など)	3.5(3.6)
10	子どもの言動で問題を感じるときには、きちんとしかたり話し合ったりしている。	3.5(3.5)
11	正しい言葉遣いや時と場に応じた話し方などを教えている。	3.3(3.3)
12	社会のルールやマナーの大切さについて、折に触れて話したり教えたりしている。	3.5(3.5)

◎自由記述

- 正しい言葉遣い、社会のルールやマナーの大切さについては、口を酸っぱくして注意していますが、親ができていないことを子供にいくら伝えてもできるわけがないと思うので、親自身がまず正していきたいと思います。
- 子育ての喜びは、ともに成長できることです。子育ての難しさは、答えに正解がないことです。大切にしていることは、挨拶や思いやりです。
- 携帯電話の使い方やルールを決めると同時に、親自身の使い方も見直さなければいけないと思いました。最近、帰宅後に友達と待ち合わせをして遊びに行きたいというので、放課後のルールも決めていきたいと思います。
- 挨拶と、ありがとう、ごめんなさいは人として大切なことだと教えています。
- 子供と話すことを大切にしています。こちらから学校のことを聞くことなど子供とのコミュニケーションはとても大切なことだと思っています。
- 言葉(ことだま)の大切さを教えています。「ありがとう」を10回、朝起きて言葉を出すすと本当に有り難いと思うようなことが10回起こるようです。) テレビに出てくる言葉の悪さにははらはらしています。あまり注意しすぎるといやになるので、良い言葉直すようにしています。
- 高学年になると、放課後の暮らしの把握が難しくなる。帰宅も遅い。携帯電話でのやり取りは親が管理できないことも多い。びっくりするくらいのお小遣いを与えている家庭もあり、自分の子供もすぐお金を欲しがります。私ができる限り自由になるお金を与えていないが、その差で戸惑うこともある。反抗期に入り、気持ちの浮き沈みが激しい。機嫌の良い時は、いろいろ話してくれるが悪くなると全く学校の状況が分からなくなる。
- 子供同士でなるべく外遊びをすることを促している。学力を付けることも大切だが、人と関わるのが生涯において最も難しいことだ。笑いあったり、けんかしたり、心と体をたくましく育てたい。

- 子供は人の目を見て話す、挨拶や感謝の気持ち、ごめんなさいを人にきちんと言葉で伝えること、人は一人一人が大切であることなどを小さいころから教えています。
- 子供の興味を妨げないことを心掛けています。
- わがままになったり、言うことを聞かなくなったりすることもあります。外ではちゃんとやっている様子を見たり、聞いたりすると、家では親に甘えているのだなと思います。甘えられる場所が私であることを嬉しく思います。
- 挨拶などはきちんとできるようにはしています。友達を絶対にじめてはあげないと強く話しています。
- 一人っ子で周囲の大人たちに甘やかされているので、わがままな部分が目立ちます。家で少し厳しくするように気を付けています。
- 子供と一緒にもっともっと時間を共にして、話をたくさんして、してあげたいことが山ほどあるのに、日々満足に思えることがなく、親として子どもにしてあげられることの足りなさを痛感しています。学校では、親が思っている以上の多くのことを子供たちは学んでくれていて、先生方に感謝するばかりです。
- だんだん親の言うことを聞かなくなり、時には言い返してくることもあるけれど、そんなときは、なぜそのように思うのか、一つ一つ聞くようにしている。感情的になったり、一方的に親の意見を押し付けたりしないように気を付けている。
- 家が子供にとって一番安らげる場所であるよう、心がけています。
- 子供の存在そのものが喜びです。難しいと思うのは、叱り方です。子供の言い分もある中、親の意見も伝えることの難しさを感じる。
- きちんと子育てしたいと思っていますが、客観的に見ると、できていないことも多いと思います。
- 子供の揉め事等で先生に大変ご迷惑をおかけしました。男の子ということもあり、今日あったことを話してくれなかったり、聞いてもいろいろ言われると思うのか、嫌な顔をしたりします。子供の悩みを聞いても、友達との人間関係のことなら、アドバイスも難しく困るときもあります。学校にいる時間が少しでも楽しく過ごせればよいなと思います。
- いつもと表情がちがうと感じたときは、必ず「どうした?何かあった?」と声をかけています。学年が上がるにつれて、自分から話すことも減ってくるので、こちらから話をふるようにしています。一人で考えて悩まないで、お父さんとお母さんはいつでも話を聞くからと伝えています。
- 楽しい家になりたいと思っています。もう少し早く寝かせないといけないなと思っていますが、習い事等でどうしても遅くなっています。
- 元気でいてくれることが喜びです。パワー全開の子供たちが寝てから、今日も一日幸せだったことを感謝するよう心がけています。大切にしているのは思いやりです。
- 友達と遊ぶのがとても楽しいようで、約束した時間を過ぎても帰ってこないときがあり、今のうちにしつけておかなければいけないなあと思っています。難しさを感じます。
- 家で気づく点指導するものの、外できちんとできているのには見えません。だからこそ地域が協力し合った育成をと思います。
- 高学年というのは、いろんな人(友達・先生・親)にもまれて成長するものだから、少々もまれていいのです。大人が子供の世界に介入しすぎてはいけないと思います。
- 大切にしていることは、学校のことを一番頑張って、習い事も頑張ることです。ある程度忙しくさせている方が、充実した時間を過ごせるし、自分で頑張る力を身につけることができるのではないかと考えています。難しいと思うことは、中学に向かうにあたり、大人に近づいていくので、親も時代の流れを見ながら適切な意見を言えるようにしておかなければ、いけないなということです。
- 会話を大切にしています。子供が打ち込めることをさせてあげたいと思っています。一つ一つ話し合っていて悩んでいることにも相談できる親でいたいと思っています。
- 高学年になった子供は、キレイごとだけでは通じないので、グレーな部分も交えながら話をしています。友達関係、世の中の事件の話、日々の身近な話など、全てにおいて「裏」も含めて話をしています。何事においても色々な角度から物事を見て、考えられる子になってほしいと思っています。
- 高学年になると、あまり話してくれなくなりますが、「学校どうだった?」などと話しかけ、少しでも話す時間をもつことを大切にしています。
- 高学年になると、女の子はいろいろと人間関係が難しくなりますが、常に友達関係などを聞くようにしています。
- 学校が楽しいと自然と家での会話も増えます。会話は子供を理解する上で重要だと考えています。
- 子供に寄り添いつつ、人が見ていないときでも常識のある行動ができる子供になってほしいと思って、子育てしています。とはいえ、なかなか難しいです。6年間あっという間でした。本当に色々ありましたが、今ではいい思い出です。これも先生方のおかげです。本当にお世話になりました。ありがとうございました。